

「青少年文化体験フェスタ」～奥富小学校レポート～

12月8日(土)は快晴の小春日和。昨年の広瀬小学校の冷たい雨を思い出す。案山子祭りの田んぼに程近い校舎は、駅からは遠いが、熱心な保護者の送り迎えと、終わりまで我が子の体験に付き添う姿が多い。

今回は、体験内容が12で少ないが、参加した子ども達は延べ272名で、奥富小が87名を占めた。各教室を廻ると、うまく配分されていると感じた。付き添いも100名近くにのぼった。

和太鼓は、年齢別に3グループに分け、素振りですでに十分リハーサルしてから叩かせていて、感心した。クラシックギター20本も揃え、うれしそうに抱えている。茶道、いけばなの家庭科室。机は殺風景だが、たっぷりの講師の先生方で満足そう。大事そうに作品を持ち帰る姿がほほえましい。

- ・新舞踊は、お猫道中、手のしぐさが面白い
- ・日本舞踊、芸術祭にも出演で、指導に熱が入る
- ・ジャズダンスの激しい動作、演劇の大きな声は寒さを感じない
- ・市民美術のクラフトとんぼは、雲ひとつないグラウンドで青空に飛ばす姿が楽しそう



来賓に議員さん7名も見えられ、またボランティアの中学生女子4人もそろった。駐車場係は暖かく助かったと言う。

短時間ではあるが、密度の濃い内容、奥富小校長先生のご理解、そして実行委員の緻密な計画、準備が成果につながったと思った。
(広報委員会 高沢正夫)

----- さやま・文化の息吹 -----

狭山コミュニティ放送研究会

(ちゃっぴいなかま) ～地域からの情報発信をめざして～

私たちがビデオ制作サークルとして活動を始めてから10年になります。その間、狭山ケーブルTV向けに自主企画番組を制作したり、文団連のイベントや加盟団体の発表会のビデオ記録を担当してきました。

一昨年からは、狭山シニアコミュニティカレッジ(SSCC)のジャーナル学科卒業生の人たちと一緒に、ビデオでSSCCの8つの学科を紹介する企画に取り組んできました。それらは「いきいきシニアウォッチング」シリーズとして半年に渡ってケーブルTVで放映され、好評を得ました。

地域ジャーナリストを目指して勉強してきた彼らと共同で番組を制作できたことは、私たちにとっても視野が広がり大変有意義なことでした。

現在は、第2弾のシリーズとして、元気なシニア個々人を紹介する番組を共同制作中です。第1話は4月の放映を予定していますのでご期待下さい。

代表 小川忠史



(写真はナレーション収録光景です)